CampbellCollaboration

Plain Language Summary
International Development

2017

地域密着型アプローチは、衛生習慣の変化を促すのに最も効果的だが、しかし、持続可能性が課題である

Photo: Belgian Red Cross

コミュニティにおいて手洗いと衛生行動の変化を推進すると、石鹸を使った手洗いやトイレも使用を増やすことができる

このレビューの目的は何か？

このキャンベル系統的レビューは、低･中所得な国における手洗いと衛生行動の変化を推進するための様々な手段の有効性と実践に影響を与える要因を調査した。このレビューは、42の影響評価と28の質的研究からなるエビデンスを要約している。

手洗いと衛生の努力を推進するための地域密着型アプローチは、ソーシャル･マーケティング、メッセージング、心理社会理論に基づく介入よりもよりうまくいくように思われる。衛生学と公衆衛生施策を結合させたプログラムは、どちらか一方だけの場合よりも大きな影響があるようだ。

これは何のレビューなのか？

下痢は、低･中所得の国々において、とても一般的な死因である。

このレビューは2つの問いに対するエビデンスについて評価する。(1)手洗いと衛生行動の変化を推進するための様々なアプローチがどれくらい効果的なのか。そして(2)これらのアプローチの実践に影響している要因は何であるのか。

どのような研究が含まれているのか？

有効性の研究は、実験的または準実験的設計と分析的観察研究を使用した影響評価でなければならなかった。実装研究では定性的設計を使用した。

42の定量的研究と28の質的研究が選択基準を満たした。定量的研究は世界中のLMICで実施され、その大半は南アジアとサハラ以南のアフリカで行われた。

このレビューの主な発見は何であるのか？

公衆衛生の要素を含む地域密着型アプローチは、トイレの使用、糞尿の安全な処理などの重要な機会に石鹸で手を洗うことを増やすことができて、そして野外で排便する頻度を減少させる。

ソーシャル･マーケティングは効果がなさそうである。このアプローチは、手洗いと公衆衛生の要素を組み合わせた介入である場合、公衆衛生成果に影響することを主に示す。

石鹸を使用した手洗いに焦点を絞って衛生学と公衆衛生から言えることは、介入後には効果があるが、公衆衛生成果には少ししか影響を及ぼさない。しかも、これらの効果は長期間においては持続可能ではない。

手洗い推進(のための)小規模な介入において心理社会理論の要素を使用すること、もしくはインフラ促進のような要素を理論の土台に付け加えること、既存の促進アプローチのための公約は、石鹸を使用した手洗いにとって期待できると思われる。

上記の全アプローチは、知識、スキル、態度のような行動要因に一貫した影響を与えない。健康においても一貫した影響はない。

Photo: © Mirva Helenius / Belgian Red Cross

このレビューはどれぐらい最新のものか？
このレビューの著者らは、2016年3月までに公表された研究を検索した。このキャンベル系統的レビューは2017年5月に発行された。

キャンベル共同計画とは何か？
キャンベル共同計画は、系統的レビューを公開している、国際的・自主的・非営利の研究ネットワークである。我々は、社会および行動科学のプログラムに関するエビデンスの質を評価し、まとめている。我々の目的は、人々がより良い選択そして政策決定ができるように手助けをすることである。

この要約について
この要約は、Howard Whiteがキャンベル系統レビュー2017: Emmy De Buck, Hans Van Remoortel, Karin Hannes, Thashlin Govender, Selvan Naidoo, Bert Avau, Axel Vande veegaete, Alfred Musekiwa, Vittoria Lutje, Margaret Cargo, HansJoachim Mosler, Philippe Vandekerckhove, Taryn Young 著「Approaches to Promote Handwashing and Sanitation Behaviour Change in Low- and Middle-income Countries: A Mixed Method Systematic Review' (DOI 10.4073/csr.2017.7)」に基づいて作成したものである。校正とレイアウトはTanya Kristiansen (Campbell Collaboration) よって行われた。この要約の作成のためのAmerican Institutes for Research(A I R)からの財政支援に感謝の意を表する。

実装に影響する要因は何であるのか？
実装は、介入の期間、訪問頻度、短いコミュニケーションメッセージの使用、訓練教材が利用できること、優しさや敬意といった実装者の立場や親しみやすさ、費用と便益そしてインフラや社会共通資本の利用に関する受益者の認識、によって影響を受ける。

地域密着型アプローチの場合、コミュニティの関与、コミュニティリーダーの熱意、所有者であるという意識を持っていること、実装者がコミュニティの一員であること、実装者のジェンダー、信頼、収入創出活動、確かなコミュニケーションと協働の文化の発展が、実装を促進した。

衛生学および公衆衛生のメッセージングの場合、テキストメッセージは、短くそして文化的に相応である必要があり、学校やリマインダーにおける受動的な指導方法は、頻繁にかつ長期間にわたって行わなければならない。障壁としてあるのは、読み書きができないことや、学校の介入の場合に家族からの関与および興味関心の欠如である。

ソーシャル・マーケティング・アプローチの場合の障壁は、どの地域を対象とするか、融資審査時間、公衆衛生(に対する)融資が貧しい人々には届かないということについて、トイレビジネスの事業主とのコミュニケーションが欠如しているというような、融資の利用に関するものだった。

このレビューの所見は何を意味するのか？
手洗いと衛生行動の変化を目的とした促進のためのアプローチは、石鹸を使って手を洗うこと、トイレの使用、そして野外排泄および安全な糞尿の処分に関して、効果的である。さまざまなプロモーションの要素の組み合わせが、おそらく最も効果的な戦略である。これらの促進的アプローチの実装に影響を与える、さまざまな障壁やファシリテーターを特定して取り組むことが、効力を向上させる。

重要な研究結果は、手洗い、トイレの使用、安全な糞尿処理および野外排泄について、測定および報告に関するより均一な手法の必要性である。

The Campbell Collaboration
info@campbellcollaboration.org

Website:
www.campbellcollaboration.org

EN-0256